

今、何の病気が流行しているか！

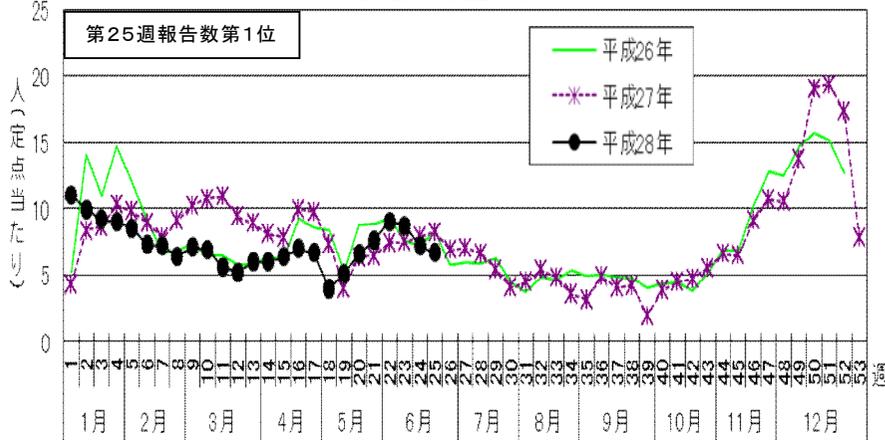
【感染症発生動向調査事業から】



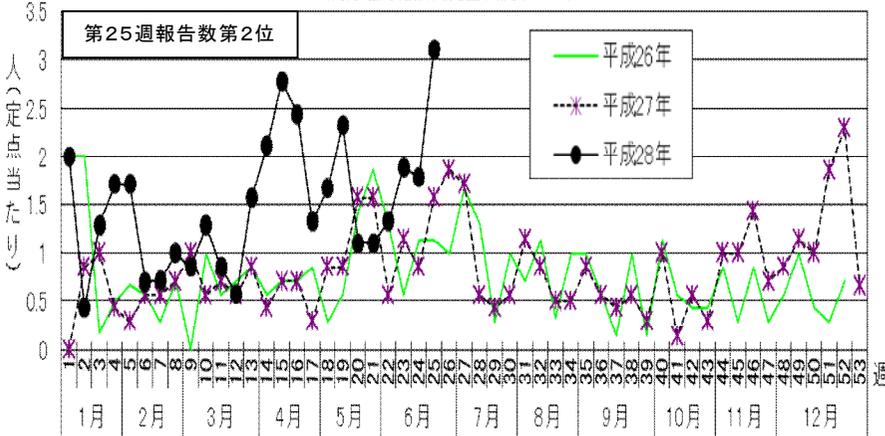
平成28年6月20日（月）～平成28年6月26日（日）〔平成28年第25週〕の感染症発生状況

第25週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) 流行性角結膜炎 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は6.65人と前週（7.16人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
 流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は3.11人と前週（1.78人）から増加し、かなり高いレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は3.00人と前週（3.78人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



流行性角結膜炎発生状況(3年間)



急増しています！！～流行性角結膜炎～

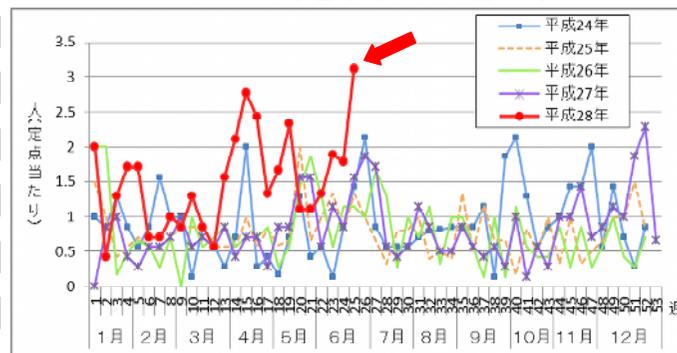
川崎市において、6月に入り流行性角結膜炎の報告数が急増しています。第25週の定点当たり報告数は3.11人となり、同週までの累積は過去10年間で最多となりました。特に麻生区で定点当たり報告数が13人と多く、警報レベル（定点当たり8人）を超えています。

流行性角結膜炎は、涙が出る、目やにが出る、目が充血するなどの症状が出現し、乳幼児では細菌の混合感染により重症化することもあります。
 場合によっては失明することもあるため、こすらないよう注意して、早めに眼科を受診しましょう。

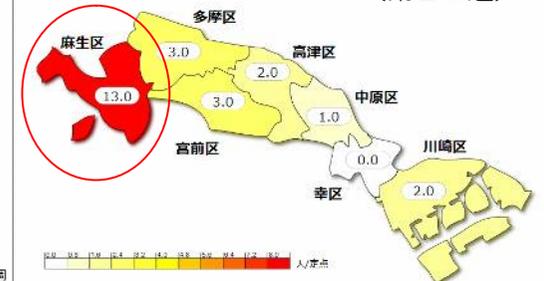
接触により感染します。ウイルスで汚染されたティッシュペーパー等は適切に廃棄し、タオルの共用は避けましょう。



川崎市の流行性角結膜炎発生状況



川崎市の流行性角結膜炎分布マップ (第25週)



川崎市感染症情報発信システム (KIDSS)